

静岡県の養豚場で豚熱発生(国内105例目)!

7月4日、静岡県富士宮市の養豚農場において豚熱の患畜が確認されました。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を徹底してください。

豚に異状がみられた場合は速やかに通報してください。

【105例目の概要】

・発生農場：静岡県富士宮市

飼養頭数：約1,174頭

・経過：7月3日、県が立入検査を行った際に豚熱を疑う事例を認めた飼養豚についてPCR検査を実施したところ、陽性を確認
7月4日、国で精密検査を実施、豚熱の患畜と判明

【豚熱の特定症状】

- 耳、下腹部、足等の紫斑（チアノーゼ）
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便

管内の飼育豚、いのししにはワクチン接種をしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかり行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。

(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上